

◆報告事項

第四次長野県環境基本計画(案)に関する意見について

長野県から発信された長野県環境基本計画(案)への意見募集に対し、コープながのとして以下のようなコメントを提出しました。「コープながのは持続可能な社会の実現を目指し、原子力発電に頼らない再生エネルギーを広げる政策への転換を求めています。また、廃棄物減量や温室効果ガス削減などの地球温暖化対策の取り組みが向上するよう、消費者への具体的かつ積極的で丁寧な情報提供を希望します。」

コープふくしまへの募金贈呈とふれあいサロン参加の件

東日本大震災復興支援募金贈呈のためコープふくしまを訪問し、募金贈呈式を行いました。また、訪問に合わせて仮設住宅の集会所を訪ねて「コープふくしまふれあいサロン」に参加し、サロンの参加者とともに信州名物「おやき」作り体験をし、交流を深めました。

※コープながのは2014年度から「コープふくしまふれあいサロン」へ毎月「信州だより」と銘菓を送っています。ふれあいサロンへの銘菓提供や、被災者応援などの活動を継続していくために引き続き支援募金を行います。

コープふくしま「夜の森」さくらプロジェクト植樹式の件

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、全町民が町外避難となった福島県富岡町には「夜の森」という桜の名所があります。コープながのによる被災者応援活動が縁で、「夜の森」の桜をコープデリ安曇野センターに植樹することとなりました。4月に植樹式を行います。

2018年度田んぼのがっこう開催提案の件

従来の「生きもの調査」に加え、田んぼの果たす役割りを総合的に学習する企画としての「田んぼのがっこう」を開催します。今年度は、産直産地の生産者やJAの協力を得ての開催と、国営アルプスあずみの公園が主催する企画に参加する形の2通りの方法で取り組みます。

「組合員の声」1月度まとめ

1月度のカード受付件数は全体で134件でした。内訳は、組合員さんが直接記入して提出された「声のポスト」が22件、組合員さんの言葉を職員が記入して提出した「観たこと聴いたことカード」が99件、案内センターへの声が13件でした。組合員さんから「稲庭風うどんは、さぬきうどんよりおいしいからもっと企画してほしい。本当においしいですよ。」という好評の声をいただいたほか、農産物について「天候のせいか、最近届くレタスがよくありません。特に今回のものは巻きが固く中の葉が傷んでいて残念でした。」といった声が出されていました。

2月度監事会活動

- 1月22日 事業所監査「総合企画室・職域事業センター」
- 1月30日 日本生協連 常勤監事監査研究交流会(～31日)
- 2月1日 内部監査同行「店舗事業部」
- 2月5日 事業所監査「管理部・共済センター」
- 2月9日 第9回監事会
- 2月15日 コープデリグループ常勤監事定例会
コープデリグループ監事連絡会・世話人会

2018年1月の回収量		【★…店舗のみで回収】 【前年同月に対して👍増加👎減少】	
牛乳パック 5,795 kg 📉	ペットボトル★ 1,993 kg 📈	本数 193,180本	本数 37,611本
たまごパック 2,902 kg 📈	食品トレイ★ 822 kg 📈	パック 241,833パック	枚数 136,983枚
アルミ缶★ 1,523 kg 📈	買物袋持参率★ 79.8% 📉	缶 36,262缶	来店数 74,515人

2月度決算(2018年1月21日～2月20日)	
組合員数	305,076人 (前月差748人増加)
出資金総額	121億5,941万円 (前月差2,330万円増加)
事業高	35億1,500万円 (予算比104.8%)
コープデリ宅配	32億7,469万円 (予算比105.2%)
店舗	1億8,847万円 (予算比97.8%)
職域	1,028万円 (予算比100.5%)
経常剰余	1億2,516万円 (予算比116.9%)

お知らせ

コープデリ商品検査センターがリニューアルします

コープデリ商品検査センターでは、食の安全の取り組みが有効に機能していることを科学的・客観的に確認するため、宅配やお店で扱う商品の微生物や残留農薬などの検査を行っています。この商品検査センターが4月にリニューアルします。

新しい検査センターでは、遺伝子など検査の機能を拡張し、迅速な検査結果と検査内容の充実を図ります。また、食の安全に関して「なぜ？」を数値で表し、わかりやすく伝えるための調査研究なども行います。組合員の皆さんに見学に来ていただけるよう準備を進めています。

※コープデリ商品検査センターは埼玉県さいたま市にあります



検査の様子を間近で見学することができます